

自治会アンケートの結果について

平成30年5月

大津市市民部自治協働課

I 調査要領及び回答状況

1 調査目的

近年、高齢化やライフスタイルの変化、価値観の多様化などを背景に、本市においては自治会加入率が年々低下し、平成29年度4月1日時点において61.5%まで減少しています。

このようななか、本市では自治会加入促進を喫緊の課題とし、自治会活動における負担軽減の取組を行う必要があると考え、その基礎資料として活用することを目的に、市内の自治会に向けて、アンケートを実施しました。

2 調査方法

調査対象：大津市自治連合会加入の市内697自治会

依頼方法：大津市自治連合会定例会（2017/11/28開催）において、各学区自治連合会長を通じ、各自治会あて依頼文及びアンケート用紙を配布

回答単位：自治会単位（1自治会につき、1枚提出）

回収方法：学区ごとにとりまとめ後、自治協働課へ提出

3 調査期間

平成29年11月28日～平成30年2月28日（提出締切）

4 回答状況

自治会数：697自治会

回答数：524自治会

回収率：75.2%

5 集計結果の標記に関する留意点

- ・ 図表中のNは質問に対する回答総数です。
- ・ 表中の比率（%）は、四捨五入処理をしているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。

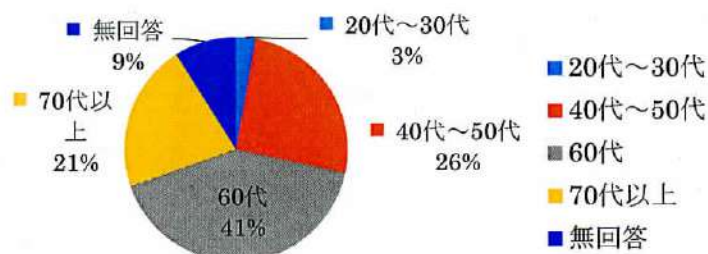
6 回答者の構成

① 記入者の年齢

図表1 年代別回答記入者の内訳

年代	回答数
20代～30代	15
40代～50代	134
60代	216
70代以上	112
無回答	47

(N=524)

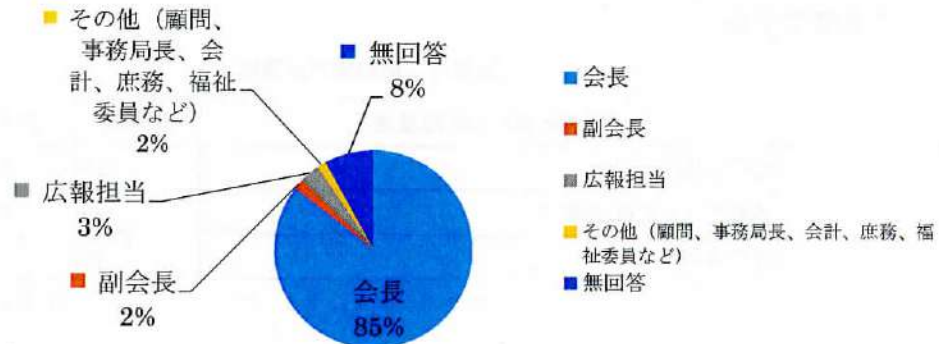


② 記入者の役職

図表2 役職別回答記入者の内訳

役職名	回答数
会長	448
副会長	9
広報担当	17
その他(顧問、事務局長、会計、庶務、福祉委員など)	8
無回答	42

(N=524)



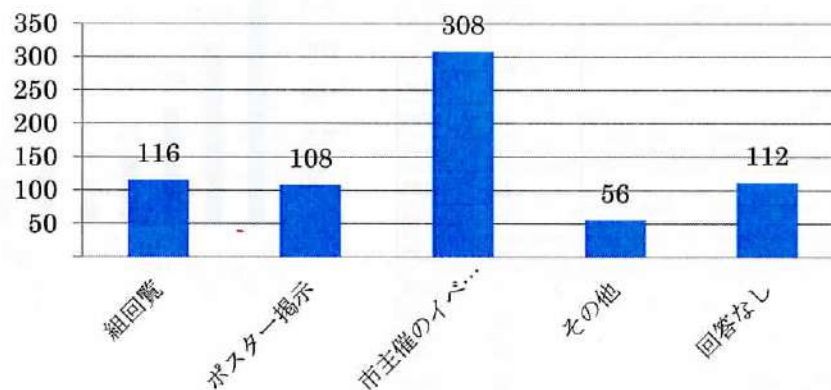
II 調査結果

問1. 市から協力依頼があるもののうち、自治会にとって負担となっているものはなんですか?《複数回答可》

図表3 自治会の負担となる依頼事項

負担を感じる依頼事項	回答数	比率
組回覧	116	22.1%
ポスター掲示	108	20.6%
市主催のイベントや会議への協力・動員	308	58.8%
その他	56	10.7%
回答なし	112	21.4%

(N=524)



「市主催のイベントや会議への協力・動員」が最も多く、回答のあった自治会全体のうちおよそ6割が自治会活動における負担と感じています。

また、「その他」のうち主な意見としては

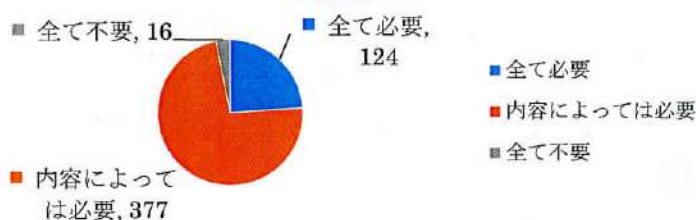
- ・ 広報等の全戸配布
- ・ 募金協力（組長が戸別に訪問している、任意のはずなのに強制に感じる等）
- ・ 件数が重なる時期や、^{まみだれ}五月雨式に届いた場合の組回覧やポスター掲示などとなっています。

問2. 組回覧についてお尋ねします。組回覧による市からのお知らせは自治会にとって必要ですか？

図表4 組回覧の必要性

負担を感じる依頼事項	回答数	比率
全て必要	124	24.0%
内容によっては必要	377	72.9%
全て不要	16	3.1%

(N=517)



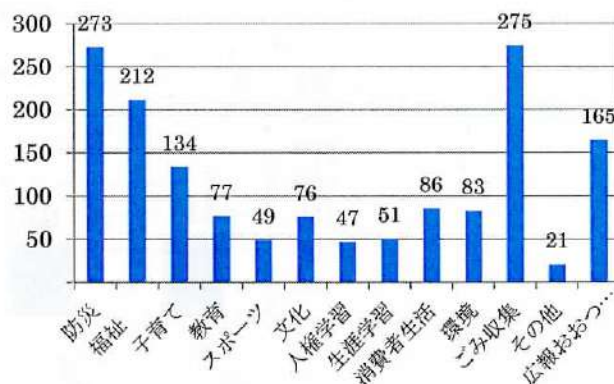
「内容によっては必要」が最も多く、回答のあった自治会全体のうち7割以上でした。今後は、自治会活動に必要な情報とそうでないものについて精査をしたうえで、それらの広報・伝達方法についても地域性をふまえて再検討が必要と考えられます。

問3. 問2で「内容によっては必要（一部必要）」を選んだ方にお尋ねします。自治会にとってどんな内容・分野の情報が組回覧に必要ですか？《複数回答可》

図表5 組回覧で必要な情報

内容・分野	回答数	比率
防災	273	72.4%
福祉	212	56.2%
子育て	134	35.5%
教育	77	20.4%
スポーツ	49	13.0%
文化	76	20.2%
人権学習	47	12.5%
生涯学習	51	13.5%
消費者生活	86	22.8%
環境	83	22.0%
ごみ収集	275	72.9%
その他	21	5.6%
広報おおつに掲載していないもの	165	43.8%

(N=377)



最も多かった回答は「ごみ収集」で72.9%、次いで「防災」、「福祉」、「子育て」が続きます。日常生活に直結するごみ収集や、生命・身体の安全確保に関わる防災、福祉関連について、重要視されていることが窺えます。

また、「広報おおつに掲載していないもの（分野を問わず、広報おおつに掲載済みのものは回覧不要）」が「福祉」に続いて多く、広報おおつ（月2回配布）と重複している組回覧については整理を検討する必要があると考えられます。

なお、「その他」の内容としては

- ・高齢者の事故・事件・詐欺被害防止対策関係
 - ・広報おおつに掲載されていても情報量が少ないもの
 - ・分野よりも内容による。本当に必要なもの
- などとなっています。

さらに、問7（自由記述）の回答内で組回覧に関係する意見として

- ・回覧するチラシ・ポスター・広報等の配布をまとめてほしい（配布量・回数の効率化）。回覧物が不定期に届くので予定が立たない。
- ・住民の高齢化、一人暮らしの世帯が多くなり、回覧を回してもスムーズに周知できない。
- ・回覧や掲示物がバラバラに出され、市民センターに何度も取りに行かなければならない。又、高齢者は回覧板を回す事も負担で回覧の回数が多くならないようお願いしたい。
- ・回覧は班内を一周するのに日数がかかることがある。告知の手段としてはあまりふさわしくないように感じることもある。
- ・回覧・配布物が多すぎる。広報おおつがあるので、回覧物を減らすことにより資源の保護にも繋がる。
- ・組回覧は全てとりやめ、スマホやPCで閲覧できるようにしたり、びわ湖放送のデータ放送で閲覧できるようにして、ペーパーレス化を推進してほしい。
- ・回覧は、町内の連絡網であって行政のものではない。どうしても必要な物だけを遠慮して回して下さい。
- ・自治会組織がチラシ各戸配布や回覧をするシステムマシーンとされているのか？主催者や依頼者がおかしい。また、自治連の幹部にお願いしておけばハイOKではない。

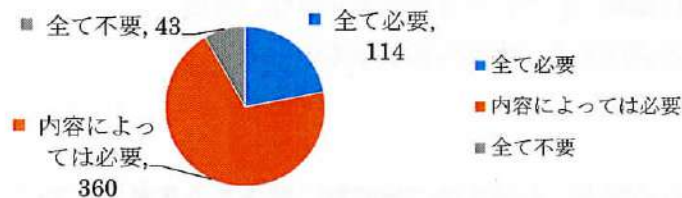
など、回覧の内容だけではなく、実施方法や配布のタイミングなどについても多くの意見が寄せられました。

問4. ポスター掲示についてお尋ねします。自治会のポスター掲示による市からのお知らせは必要ですか？

図表6 ポスター掲示の必要性

内容・分野	回答数	比率
全て必要	114	22.1%
内容によっては必要	360	69.6%
全て不要	43	8.3%

(N=517)



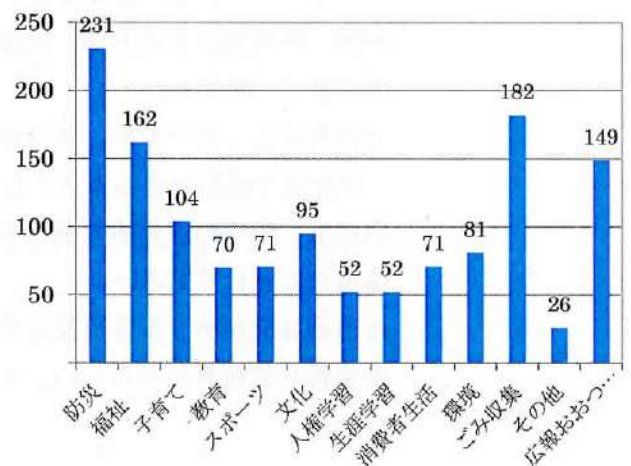
「内容によっては必要」が最も多く、回答のあった自治会全体のうち7割を占めています。一方、「全て必要」は全体のおよそ2割となりました。問2の組回覧に関する回答とほぼ同じ結果となりましたが、組回覧に比べ、「全て必要」「内容によっては必要」のいずれもわずかに比率が下がっています。

問5. 問4で「内容によっては必要（一部必要）」を選んだ方にお尋ねします。自治会にとってどんな内容・分野のポスターが必要ですか？《複数回答可》

図表7 ポスター掲示で必要な情報

内容・分野	回答数	比率
防災	231	64.2%
福祉	162	45.0%
子育て	104	28.9%
教育	70	19.4%
スポーツ	71	19.7%
文化	95	26.4%
人権学習	52	14.4%
生涯学習	52	14.4%
消費者生活	71	19.7%
環境	81	22.5%
ごみ収集	182	50.6%
その他	26	7.2%
広報おおつに掲載していないもの	149	41.4%

(N=360)



最も多かった回答は「防災」で64.2%、次いで「ごみ収集」、「福祉」が続きます。

また、「広報おおつに掲載していないもの（分野を問わず、広報おおつに掲載済みのものは回覧不要）」が「福祉」に続いて多く、こちらも組回覧と同様、広報おおつと重複した内容のポスター掲示についてはその効果を含め整理を検討する必要があると考えられます。

なお、「その他」の内容としては

- ・ 広報おおつに掲載されていても情報量が少ないもの
- ・ 工事関係、道路規制
- ・ 分野ではなく内容による。本当に必要なものは分野を問わない。
などとなっています。

さらに、問7（自由記述）の回答内でポスター掲示に関する意見として

- ・ ポスターの掲示スペースに比べポスターが多すぎる。期間も長すぎる。自治会独自の広報活動の妨げになっているので、ポスターの数・大きさ・期間を厳選してほしい。
- ・ 掲示板のスペースが限られており、多数依頼がある時期は掲示しきれないことが多々ある（特に秋頃）。もう少し配慮してほしい。
- ・ ポスターが貼りきれない場合、独自に判断して掲出しているが、不安を感じる。
- ・ 掲示板の大きさには限りがあり、大型のポスターはやめてほしい。
- ・ ポスターサイズはA3またはA4サイズで十分。作成側のコスト軽減にも繋がる。

など、ポスターの内容だけではなく、ポスターのサイズや件数、時期、掲示期間などについて多くの意見が寄せられました。

問6. 問1で「市主催のイベントや会議への協力・動員」を選んだ方にお尋ねします。貴自治会では、どのような協力・動員が負担となっていますか？具体的な内容、頻度、人数、理由等をご記入ください。 ※自由記述

主な回答内容

【イベント・会議の内容（共通）】

- ・ 平日昼間開催の会議
- ・ 学区外や遠方での会議・イベント
- ・ 開催頻度が多いもの
- ・ 長時間の動員
- ・ 農繁期の動員
- ・ ポスターや資料の配布で十分と思われる講演会
- ・ 一律〇人と人数指定される動員方式

【イベント・会議の内容（個別）】

- ・ 年度当初の各種委員会総会 ・ 人権生涯学習推進委員会議 ・ 災害復旧訓練
- ・ ノーポイ運動 ・ 琵琶湖一斉清掃 ・ 一級河川清掃
- ・ ごみ減量推進関連会議 ・ 地域安全（防犯）関連会議 ・ 交通安全協会会議
- ・ 防災訓練関連行事 ・ びわ湖花火大会警備 ・ ヨシ刈り ・ 夏祭り準備
- ・ スポーツ関連イベント（運動会、市民体育大会、市主催共催のマラソン大会等）

- ・地域安全連絡所代表者会議 ・防災・防犯等の講演会
- ・暴力団防止デモ ・人権を考える大津市民の集い ・青少年活動関係 等

【主な理由や事情】

- ・自治会員の高齢化が進み、動員を引き受けてもらえない。また体力的に厳しい動員がある。(特に花火大会警備や消防出初式、各種清掃活動等)
- ・会議が平日昼間の開催だと、現役世代は共働きがほとんどの為出席できないどういん。(地域安全(防犯)関連会議、ごみ減量推進会関連会議等)
- ・自治会員や加入世帯数の減少により人手不足。
- ・他にいける人がおらず、毎回同じ人が負担している(主に会長や役員)。
- ・高齢化・少子化でスポーツイベントの人集めが厳しい。 等

その他意見(一部掲載)

- ・一定の人(役員等)に負担がのしかかっている。又、自治会の大小の規模にかかわらず同じ人数の動員をいうのも結局は負担のバランスを欠き、常に出にくい状況を作っている。
- ・市の会議等、平日開催が多いため、自治会員は勤め人が多いため出席できない。
- ・自治会として、住民自治に関する内容は必要と思う。福祉、環境、ごみ収集等。
- ・どのイベントも町内及び他地域の顔ぶれも同じ、イベント会議に出席(参加)すると本当に多数の参加を募ってまで実施する内容(価値ある)があるのかと感じる。
- ・有意義なものでも毎回顔ぶれが同じになってしまう。
- ・平日に開催される会議(講習会)。例えば、地域安全(防犯協)関連会議、ごみ減量推進関連会議。同じ開催するのなら、丸一日同会場で複数講習会を開催する手法も良いのではないか。参加できなかった場合のフォロー体制も必要ではないか。(フォロー不要ならさほど重要である会議ではない。)
- ・イベントになぜ動員が必要か?参加人数が少なければそのイベントに魅力がないということ。
- ・年間で市主催のイベント情報(大体の予定の日程等)を知らせてもらえれば、個人的ではあるが予定を立てやすくなる。
- ・動員数を一方的に定められても参加できる人数に限りがある。案内はするが、動員数を定めるのは不適當と考える。
- ・行事の一元化を希望します。例えば、防火・防災訓練。市、連協自治会と動員があり、負担が大きい。行政として検討願いたい。
- ・動員が必要なイベントを開催していることが、自治会役員の引き受けを断ることに繋がっている可能性がある。住民が主体となる会議やイベントであれば動員を必要としないはず。
- ・行事によっては、高齢者限定や小学生親子向けなど対象者を絞り、消化ありきではなく、人員を分散させ内容を充実させるなどしてはどうか。

【その他意見多数(約280件)】

問7. その他、自治会活動のなかで、日頃から負担が大きいと感じておられることがあれば、その内容をご記入ください。 ※自由記述

回答・意見（一部掲載）

- ・世帯数減による自治会費の減少で運営が厳しい。
- ・各種募金や集金など夫婦共働きが多い為留守がちで何回も訪問するのが大変。
- ・高齢者が多くなり、また高齢者でなくても仕事（土日でも休みとは限らない）や、個々の用事などもあり、協力を求める事は難しくなっている。学区内の行事や奉仕活動、自治会内の活動、作業も多く、自治会運営が困難にもなっている。役員数も多く、役員の確保も難しい状態である。これから益々自治会活動は難しくなるだろうし、この様なアンケートを書く作業すら省きたい。
- ・損か得かで判断する人が増えている。誰もが自治会役員をできるよう配布物やイベントの動員をしないことを求めます。
- ・高齢者の自治会退会が目立つようになっている。身体が思うようにならないのに役員なんてとてもできないということだと思ふ。
- ・自治会へ加入している方と加入していない方とで生活し易さに違いがなく、加入している方が役員など負担ばかり感じてしまう。
- ・市からの要請、委託等が多く、本来の自治会活動が充分に出来ない事がある。
- ・学区各種団体が多すぎる。負担金も大変。
- ・アンケートについて、HPで直接に回答できるようにするなり、様式をHPに置くなり、やり方を考えてください。
- ・内容が重複する役職があるように思う。（例えば子ども安全リーダー、スクールガード等。一人が掛け持ちしている）
- ・選挙推進委員、防火・防災委員、地域安全委員、交通安全推進委員等、多くの役員があるが、役員のなり手が少なく、又、役員になることを嫌い自治会を脱退するという現象があり苦慮している。必要最小限の委員に整理できないか。
- ・不規則、頻繁な回覧物、配布物。（回覧物は月1回等まとめて欲しい。配った直後に次の回覧物が届くこともあり、配る側の負担に配慮がない。）
- ・加入世帯の高齢化、未加入世帯の増加、無関心が深刻化しており、今のやり方ではこの先10年は続けられない。自治会活動の意義、メリットへの理解が低下しており、一部の意識の高い住民だけで運営している実態がある。結果的に非加入によるフリーライドへの不公平感が高まり、次の自治会脱会に繋がっている。（自治会脱会のハードルが下がっている。）住民の自治会活動参加への関心を高める啓蒙活動を大幅に増やしてほしい。
- ・各種書類、提出物の多くが紙ベースでの作成を求められており、手間がかかる。また、提出にわざわざ支所へ出向かなければならないこともあり、県外の会社勤めには負担である。自治会活動の電子化を進めてほしい。PC、スマホ、FAX等を利用して書類作成の手間、支所への訪問、問い合わせをする手間の削減に取り組んでほしい。
- ・自治会員になると得られるメリットとして何があるか、に答えられる活動内容を展

開していくことが大変と感じている。自治会加入率の低下原因の大きな一つは「メリット」を感じてもらえないことにあると思う。多面、多様化している個人の価値観に合うような活動が難しい。

- ・加入率 50%の状態では会員、非会員を区別した運営方法に悩んでいる。特に防災、福祉、子供の区別。
- ・自治会退会者の増加。残った一部の者での役員の人選やイベントへの参加負担。原因として、自治会員である事にメリットがなく、むしろ会費負担や役員にならされたり等デメリットの方が多いので退会者に歯止めがかからない。自治会員である事に何か優遇されるような政策があっても良いのではないかと思う。

【その他意見多数（約310件）】